

囲碁入門講座通信 令和3年 第24号

昨年2月25日の第1号発刊から満1年を迎えました。「囲碁入門講座」は自粛中ですが、当面は当通信を続けたいと思います。(有楽斎)



報告:有楽斎

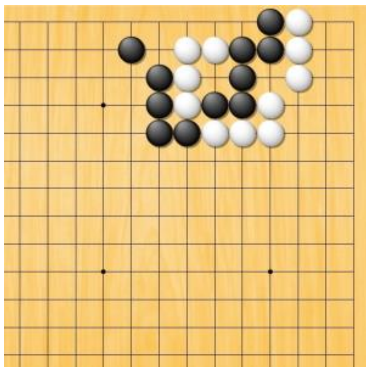
毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中です**。(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用に囲碁用語を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

囲碁用語 攻め合い(コウ/手数を縮める)

攻め合いについて、コウで頑張るケースと、相手の石の手数を縮める手筋を使うケースについて考えてみましょう。ここでは、攻め合いがコウになるケースと、ダメの数では一手負けでも、相手の手数を縮めて攻め合いに勝てるケースについて解説します。

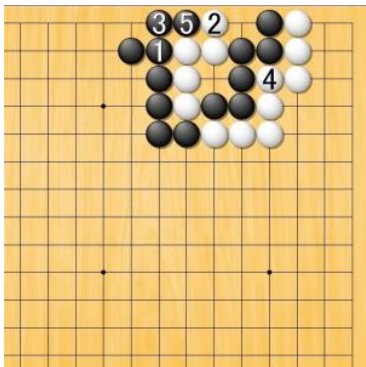
コウに持ち込む手段



問題図(黒番)

黒先で、攻め合いの結果はどうなりますか？

白の外ダメが3つに対して、黒は1つだけ。その他に内ダメが白に1つと黒に2つという、少しややこしい形をしています。計算上は黒先でも攻め合いに負けそうな感じですが、黒には「外ダメから詰めよ」の原則に反する、うまい手があります。



外から行くのは後手セキ

本図の見出しにもあるように、黒からはコウにする手があるのですが、まずはセオリー通り黒1と外ダメから詰める手です。

白2と受ければ、あとは一本道で黒5までセキになります。途中、黒3と1回休みのような手を打たなければならないのが白2の効果で、黒の後手セキです。



コウにするなら

黒1のハネを打ち、白2に黒3と外ダメを詰めれば、黒5までコウになります。ただし、白aと先にコウを取られますから、コウ材が多い場合でないと仕掛けられません。

なお、前図の白2で白4と外ダメを詰めると、やはり本図黒1と打てばコウになります。**コウに勝つのと負けるのでは24目ほど違いますから、仕掛けるには難しい判断が必要になります。**